

# 5月消費支出4.0%減

## 食料・自動車購入が減少

総務省が7日発表した5月の家計調査によると、1世帯（2人以上）当たりの消費支出は28万6443円と、物価変動の影響を除いた実績で前年同月比4.0%減少しました。食料や携帯電話料金、自動車購入などの支出が減少し、3カ月連続でマイナスとなりました。

項目別では、食料が2.7%減。新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類」に移行したこと

で、外食支出が増える一方、家で食事をする機会が減少。魚介類や肉類など幅広い品目でマイナスとなりました。通償は9.0%減。格安料金プランへの移行が増えた携帯電話通償料が減少しました。

このほか、自動車購入の減少で、自動車等関係費が19.4%減となり、全体のマイナスに寄与しました。総務省は「(もともと)変動が大きい品目だ」と説明しています。

一方、「5類」移行に伴い外出関連の支出が増加。外食は6.7%増、鉄道運賃や有料道路料などを含む交

通は17.7%増となりました。教養娯楽サービスも宿泊料や外国パック旅行費が伸び、8.5%増でした。